



社会福祉法人 恩賜財団

10月号

愛知県同胞援護会だより

第291号

平成24年10月15日発行



味美デイサービスセンター 利用者刺しゅう作品

目次

春日井・豊田グループ.....P.2	若草苑.....P.8
春緑苑.....P.3~4	第2とよた苑.....P.9
さくら保育園.....P.4	サンホーム豊田.....P.10
第2春緑苑.....P.5	支えていただいた方々.....P.11
春日苑・ワーカー鷹来.....P.6	春日井・豊田グループ.....P.12
とよた苑.....P.7	

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306
 HPアドレス:www.douen.or.jp
 E-mailアドレス:info@douen.or.jp

思い出の アルバム ③

私のうれしかったこと、
楽しかったこと

利用者さんの若かりし頃の思い出や印象に残っているうれしかったこと、楽しかったことなど、利用者さんにスポットを当て、語っていただきます。今回は、ケアハウス春緑苑と特養とよた苑の利用者さんに語っていただきました。

ケアハウス春緑苑

楽しかった飛行機旅行



天野ふきさんを紹介します。大正11年生まれの90歳。何十年も前に行った職員旅行で、生まれて初めて飛行機に乗ったときのことを語っていただきました。北陸小松空港までの小さな空の旅。40人乗りの小さなプロペラ機でした。ほとんどの人が初体験で、ワクワクしながらも、

当時は、離陸時が危険という話が多くあり、万が一事故になつたらどうしようかと、残してきた家族を思い浮かべ、ハラハラドキドキで、不安いっぱいだったそうです。

まもなく、離陸が成功し、上昇中とわかつたときは、「よかつたー!!」と喚声が上がリ、周りの人たちと手をとりあつて喜んでました。安心感とうれしさで、まさに天にも昇る気持ちで、楽しい旅行の始まりでした。孫たちに話すと、「何と大げさな。」と笑うばかりで、今の状況を昔と思いくらべ、その違いの大きさをしみじみと感じるそうです。

永い人生、楽しみも喜びも、いろいろなことを経験しますが、あのとときの、ただ単純な喜びは、幼児のように透明で、今も楽しい思い出となっているそうです。

特養とよた苑

今も昔も幸せ



民謡大会に参加されている若い頃の西郷ミツ子さん

西郷ミツ子さんを紹介します。大正10年生まれの91歳。今ま

での人生を振り返り、今も昔も、たくさんの趣味を楽しんだことが印象に残っているそうです。

終戦後、洋裁を教えて生計をたて、その後、別府のホテル街でクリーニング工場を経営しました。ホテルの女将さんたちとともに仲がよかったそうです。詩吟、民謡、生花、能、三味線、旅行といった、たくさんの趣味を楽しみました。詩吟では、

発表会に出るほどの腕前だったそうです。その当時の日記には、次のように書かれていました。

「皆と居て 笑って

泣いて旅行行く 皆と楽しむ
それが人生」

「残りは

四半世紀あるまいて
だったら今日を皆と楽しむ」

苦勞もたくさんあつたそうですが、趣味をいっぱい楽しむことができ、充実した毎日を過ごすことができたそうです。

とよた苑に入所した今でも、生花、詩吟、習字、喫茶等のクラブ活動がある日は、カレンダーに印をつけ、とても楽しみに

されています。

「今も昔も幸せ」これが西郷さんの口癖です。常に前向きに目標をもち、興味を持ったことにはすぐに取り組む。これに、今も昔も変わらない西郷さんのスタイルのようです。「これからも、クラブ活動や友達とのおしゃべりを大切にしていきたい」と言っておられました。

「たくさん趣味を持って取り組んでいくことが、私の楽しみだ」とうれしそうに語っていただきました。

「今も昔も幸せ」我々も、そんな風に人生を振り返ってみたいものです。



今でも、ケアハウスのみなさんと外出され、毎日楽しく過ごされています。※明治村にて撮影



今でも、詩吟クラブアートを発揮されています

春緑苑

9月は敬老月間ということ
で、敬老会を行いました。



▶子どもたちのかわいい慰問がありました



▶おいしいお寿司を
握っていただいています

敬老会



▶おいしいお寿司に、ニッコリ笑顔😊

▶フラダンスの慰問に
みなさんうっとり😊



9月10日(月)、高蔵寺幼稚園の園児のみなさんによる敬老慰問があり、小さいながら元気いっぱい歌声と、プレゼントに素敵なメダルをいただきました。

た。

9月14日(金)は、たちばな寿司さんによる寿司慰問と、あらび会さんによる大正琴の慰問で癒されました。

9月26日(水)は、マカナニフラスタジオさんによるフラダンスの慰問があり、敬老会は、たいへん盛り上がりました。これからも元気に長生きしてくださいね。

秋の彼岸法要



9月21日(金)、春緑苑交流センターで、秋の彼岸法要を行いました。

49名のご遺族と、39名の来賓の出席をいただき、507名の物故者のご冥福をお祈りしました。法要終了後、会食をしながら、

福祉用具貸与事業所

SAFETYオレンジ

車いすから立ち上がると自動でブレーキがかかり、次に座る時はブレーキがかかった状態で座ることが出来ます。従来の車いす同様、折りたたみも可能で持ち運びにも便利です。

折りたたみ可能!



- サイズ:全幅64×全長97×全高88cm
 - 折りたたみサイズ:
全幅33×全長93.5×全高62.5cm
 - 前座高35cm(クッション込み40cm)、
後座高32.5cm(クッション込み37.5cm)
 - 専用クッションサイズ:幅40×奥行38×厚さ5cm
 - 駆動輪径20inch、キャスター径6inch
 - 重量:16.3kg(クッション含む)
 - 最大耐荷重:100kg
 - フレーム材質:アルミ合金、シート:ナイロン
- ※量産品は、仕様や価格が変更となる場合がございます。

久しぶりにお会いするご遺族と故人の思い出話に花が咲き、たくさんの方のご支援をいただいていることを改めて感じる一日になりました。

グループホーム

お目見団子作り



▲みなさん一生懸命です!!

9月28日(金)、毎年恒例の十五夜のお目見団子作りを行いました。

「昔はよく作ったものよ。今のようにお店では売ってないもの。」「作るのが当たり前だったね。」「昔を懐かしむ声や、「少し大きくない?」「私は上手く丸まっているよ。」「大きさがバラバラだよ。」など、競い合いながら作っている利用者さんもあり、みなさん楽しいひとときを過ごされていました。

でき上がったお団子は、みたらしなどにしていただきました。自分たちで作ったお団子は格別においしかったようです。

地域包括支援センター

介護予防教室の予定

「転倒予防教室」

～スポーツの秋だ！
体力測定に挑戦しよう～

【日時】 10月22日(月) 14時～15時30分

【講師】 地域包括支援センター春緑苑
看護師 太田美幸

【会場】 東部市民センター料理教室

【定員】 25名(定員になり次第、申込み締め切りになります)

【参加費】 無料

【持ち物】 飲み物

【申し込み先】

電話 (0568) 88-5734

FAX (0568) 88-5704

メール chiikihokatsu@douen.or.jp

担当 澤井、水野、寺井、太田、白木

デイサービス

敬老会

9月15日(土)、17日(月)、18日(火)の3日間、敬老会を行いました。

今年は、大正琴、詩吟、ウクレレの演奏、歌や踊りで大いに盛り上がりました。ボランティアさんの中には、利用者さんのご家族もいらつしやり、少しでもみなさん喜んでいただけたように、衣装にも力が入っており、踊りや歌に合わせて色々な趣



▶すてきな音色でした

向を凝らしておられました。利用者さんは、とても楽しかったです。ウクレレ演奏を楽しみました



▶ウクレレ演奏を楽しみました

10月の行事予定

10月19日(金) 月例祭
10月29日(月) 誕生会

新任職員紹介10月1日付

特養



調理員 永井 秀忠

短期入所施設



管理栄養士 廣田真実子

味美デイサービス

敬老会



大盛り上がりのひげダンス

職員による出し物では、利用者のみなさんに楽しんでいただくこと、二人羽織り、ひげダンスなど楽しい催しで盛り上がりました。

帰りには、利用者さんから「今日の出し物はとても面白かった。」「楽しかった。またやってね。」「声を掛けていただき、みんなとてもご満悦でした。」

9月10日(月)から12日(水)までの3日間、敬老会を行いました。

ポランテシアの方にきていただき、歌や踊りを披露していただきました。

さくら保育園

誕生会とお楽しみ会

保育園で毎月行われる誕生会は、誕生者が舞台上上がり、保育士からインタビューを受け、誕生カードやペンダントのプレゼントをもらうなど、子どもたちにとって、一年に一度訪れる楽しみにしている行事の一つです。

そして、その後に行われるお楽しみ会では、9月は「宝探し」



▲インタビュー。上手に答えられるかな？



▲お宝みつけに、「よ～い ドン!!」



▲どこに隠しているかな？



▲かわいい、お宝見つけたよ!!

を行いました。

幼児組は裏の公園に行き、保育士が事前に草むらや遊具に隠した宝を「どうぞぞ!」の合図で一斉に探します。そして、「みつけた!」と、大興奮の子どもたちでした。

お宝はというと、乳児組は金魚のおもちゃ、幼児組は保育士が編んだあやとりで、子どもたちは、とても大事そうに持って帰りました。

第2春緑苑

ピアガーデンで乾杯!

9月13日(木)、暑さも和らいできた頃、今年2回目となるピアガーデンを開催いたしました。

手作りのおつまみと、本格的なサーバーで注ぐ生ビールは、味も一段とおいしく、普段あまり飲まない利用者さんも飲み、大いに盛り上がりました。花火の演出、カラオケ大会で会場は最高潮を迎え、利用者のみなさんは、「楽しかったね!」と、とても満足しておられました。来年もお楽しみに!



▲手作りのおつまみを前に、ニコリ!!



▲いつもと違う雰囲気の中、乾杯!

長寿の祝



9月17日(月)に敬老会を行いました。

今年、数え100歳の方1名、米寿の方が6名、傘寿の方が2名、大きな花束を贈え、感動のひとときでした。市長表彰を代理の方から授与され、ご家族からは花束が贈られ、ご本人様が思わず涙してしまいう場面もありました。



▲アロハミマースさんとリリイホヌさんによるコラボレーション発表です

その後、アロハミマースさんと、リリイホヌさんによるウクレレ演奏とフラダンス、桜&秋桜さんによる太鼓と尺八の演奏が披露され、大いに盛り上がりました。素晴らしい演奏の後は、紅白まんじゅうをみなさんでおいしくいただきました。米寿11数え年88歳

デイサービス

敬老会

9月は敬老月間ということと、敬老会を行いました。今年にはボランティアの太田様



▲タヌも仕掛けもありません

職員のリリイホヌ

音痴 特養介護士 上村よし子

私は歌が大好きです。月に数回はカラオケに行き、友達と一緒に聞きながら、手拍子をとりに口ずさんで楽しめます。でも、私は残念なことに音痴です。家族からは冗談ですが「恥ずかしい!!人前で唄わないで。」とカラオケ禁止令がでています。特養の利用者さんは、歌が好きの方が多くいらつしや、私は音痴ですが、一緒に歌を唄い楽しんでください。そんなやさしい利用者さんと一緒にこれからも歌を楽しんでいきたいと思えます。



▲おいしそうにできたよ!!

によるマジックショーと、職員による楽器演奏、利用者さんと一緒にプリンアラモード作りを行い、大いに盛り上がりました。マジックショーでは、様々なマジックが披露され、利用者さん、職員ともに、みなさん目を丸くして驚いていました。プリンアラモード作りでは、とてもきれいに飾り付けを行い、すてきな敬老会となりました。

まだまだみなさんにはお元気で、これからも延年転寿を全うしていただきたいものです。※延年転寿11自分の修行の力、または仏菩薩の加護により、寿命を伸ばすこと。

10月のメニュー紹介

選抜食の日

日時: 10/17(水) 昼食

A食: 鮭の刺身

B食: アップルパイ

おいしく食事を目指して

地域包括支援センター

11月の福祉講座のご案内

「おなかの脂肪について知ろう!!」

～上手な食事の摂り方～

【日時】 11月15日(木) 14時～15時30分

【講師】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 栄養士 松尾朱美子

【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター

【定員】 25名(定員になり次第、申し込み締め切りになります。)

【参加費】 無料 【持ち物】 なし

【申し込み先】 地域包括支援センター 第2春緑苑 電話(0568) 56-9166

10月の行事予定

- 10月15日(月) 書道・リズム体操・理美容
- 10月16日(火) 月例祭・下津ボランティア
- 10月19日(金) 衣類販売 YOUS
- 10月22日(月) リズム体操
- 10月23日(火) 紙工作 3-1
- 10月29日(月) カフェ
- 10月30日(火) アコーディオン
- 10月31日(水) 誕生日会

新任職員紹介

10月1日付

介護職員 新居 直樹

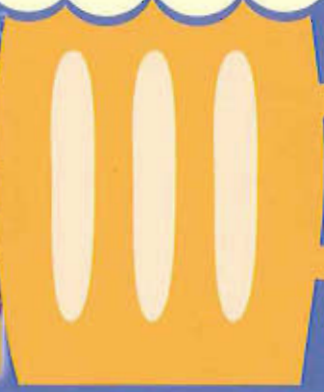
障害者支援施設 春日苑

9月6日(木)、利用者さん、職員一緒になってビアガーデンを開催しました。

ビールや唐揚げ、枝豆を前にみなさん、乾杯を待ちきれない様子。「かんぱいー」の合図とともに、ビールを「ぐぐり」と飲む利用者さん。「あー、やっぱりビールはおいしいねー」と言う声や、すぐに、「もう一杯ー」とお酒の進み具合が早い利用者さんもありました。



ビアガーデン



開放的な雰囲気の中、たくさん利用者さんの笑顔が見られ、楽しいひとときを過ごすことができました。利用者さんからは、早くも来年のビアガーデンの予約が入りました。

障がい者生活 支援センターだより

10月1日から 「障害者虐待防止法」が 施行されました

障がい者虐待とは、
・身体虐待：たたく、殴る等
・性的虐待：性的行為を強要等
・心理的虐待：侮辱、怒鳴る等
・放棄・放任：食事を与えない等
・経済的虐待：必要なお金を渡さない等
があります。
虐待を発見した・気付いた人には、通報の義務があります。春日井市では、虐待の通報に応じられるようホットラインが開設されましたので、ご案内させていただきます。

【通報窓口】

障がい者虐待ホットライン
0568-8516331
・24時間対応
・匿名での通報も可能で、プライバシーは守られます。
・内容に応じて、被害者や家族などが必要な支援を受けられるように、関係機関などと連携して対応されます。

【お問い合わせ】

春日苑障がい者生活支援センター
TEL(0568) 8817637
FAX(0568) 8815802
Eメール: kasugaien@douen.or.jp
担当 尾崎・住岡まで

10月の行事予定

10月17日(水) レクの日
10月24日(水) 秋の健康診断

ワーカー鷹来

学校祭でのパン販売

9月1日(土)、春日井小牧看護専門学校にて開催された「第22回学校祭」に参加し、パン販売を行いました。休日の中、数名の利用者さんがパン販売に協力してくれました。10時より模擬店販売やオープンキャンパス等が行われました。

会場の盛況ぶりに負けまいと、「いらっしやいませ〜！ワーカーのおいしいパンはいかがですか〜!!」と、パン販売を開始。利用者さんの元気な声が会場内に響き渡っていました。お昼頃にかけて客足も増え、たくさんさんのパンを購入していただきました。

お客様の中には、「いつも市役所や市民病院でパンを販売している施設の方々ですよね？いつもおいしくいただいていますよ。」と、激励の言葉をかけていただける方もいらっしやいました。利用者さんも「良かったです。すごくうれしい！」と感激していました。

今後、地域の行事等に積極的に参加し、ワーカー鷹来のおいしいパンを地域の皆様にご提供いただけるように頑張っていきます。



▲たくさんの方々にぎわっています



▶お待たせしました。販売開始します



▲このパンおいしいそう!!

とよた苑

おめでとうございます

ご家族と一緒に
賞状、記念品贈呈▼



▲とよた苑 最高齢104歳
鈴木代さんによる
くす玉割です

包括とよた苑

9月8日(土)
アルツハイマーデーに
ちなんだ講演会

豊田市福祉センターで行われた講演会に劇団包括として参加しました。

今回劇に参加し、当日は満席立ち見もするなど、地域の方の感心の高さが伝わってきました。



とよた苑地域包括支援センター
看護師
「みなさん、地域で認知症を見守っていきましょう」

いつまでもお元気で

9月17日(月)、敬老の日をみなさんでお祝しました。節目の年齢を迎えた利用者さんに賞状と記念品の贈呈を行いました。

平成24年度愛盲連文芸大会にて特選受賞(短歌の部)おめでどうございます!! 受賞作品をご紹介します
「ハーネスを初めて握り階段を盲導犬と上り下りする」
そしてもう一句!!
『敬老の祝い楽しきとよた苑
あふれる若さに笑顔華やか』



▲立派な「表彰状」と「たて」です
鳥居みよ子さん

第一部 医師の講演

「認知症の早期発見、早期治療から地域で安心して暮らすために」
講師 国立長寿医療センターもの忘れ外来部長 櫻井 孝氏

第一部 家族の体験談

「家族が認知症になったら」

第三部 劇団包括による寸劇

「住み慣れた地域でいつまでも」



▲最近なんかおじいさんが変なんですよ

とよた苑デイサービス

みんな元気で



▲これからも元気に過ごさそー!!

▼みなさんもお元気で



9月11日(火)から9月17日(月)までの7日間、敬老会を行いました。

期間中、多くの方が慰問に来てくださり、演舞、民謡、フラダンスを行いました。
曲のイメージに合わせた衣装で登場し、利用者みなさんと一緒に歌い、いつもとは違った時間を過ごすことができました。

最後に、長寿の代表の方にお祝いの賞状を贈りました。
代表で出ている方の元気な姿を見て「私も長寿の方たちのように元気に過ごしていこう。」と目標をかがけている利用者さんもいらっしやいました。
そんなみなさんと、これからも健康で元気に過ごしていきますね。

ケアハウス豊田

敬老会

9月17日(月)の敬老会では、豊田市から敬老金と長寿祝品が贈呈され、手作りのメダルを添えて、22名の利用者さんのお祝いをしました。
慰問には地元の歌手の方と踊りの会のみんさんに来ていただき、大盛況となりました。



習字作品



地元の歌手!!



▲いつまでも元気でいてくださいな

喫茶

今年の夏は、猛暑となったため、8月9日(木)に「宇治金時」、9月14日(金)に「いちご」と「メロン」の練乳かけを、特別メニューとして提供しました。
ひととき、暑さを忘れることができたのではないのでしょうか。



▲本格的なお抹茶と手作りアンズ

養護若草苑

9月17日(月)、敬老会を行い、80歳以上の利用者さん15名の長寿を祝いました。最高齢の利用者さんは102歳でした。

今年「まぐろの解体ショー」で利用者さんを「アップ」と驚かせ、昼食でさばいたお刺身をいただきました。

敬老会

午後からはカラオケ大会を行い、日頃、カラオケで鍛えた美声を披露し、おやつでは、「栗きんとん」をいただき、利用者さんの笑顔あふれる一日となりました。



▲ご長寿おめでとうございませ
みなさん揃って記念撮影です



▲うまいっ!!

▶山浩水産岡崎本店さんの
見事なさばきっぷりです!!



▲立派なまぐろ!
大きい頭だね!!

若草苑デイサービス

9月12日(水)から17日(月)までの6日間、敬老会を行いました。

たくさんボランティアさんに慰問に来ていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。お祝いに、職員が作った花束のプレゼントを行い、利用者さんに喜んでいただきました。

ボランティアのみなさん ありがとうございました!



▲どじょうすくい



▲殿姫チンドンさん

◀TUT-1026さん



▲ハイチーズ!!

第8回 若草苑文化祭開催のお知らせ

11月3日(土)、11時より若草苑にて「第8回若草苑文化祭」を開催いたします。

利用者さんの作品展示など盛りだくさんの内容となっておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひ、お越しください。

新任職員紹介

(10月1日付)



生活相談員 大林留香子

東山デイサービス

敬老の日

9月11日(火)から9月17日(月)までの7日間、利用者さんのご長寿をお祝いして、敬老会を行いました。

ハーモニカ演奏や踊りなど様々な慰問の方に来ていた



▲心癒される音色です!



▶着物業に思わすうっとり!!

最後に、誓寿記念状が授与され、くす玉を割り、きれいに舞う紙吹雪に拍手喝采でした。これからもみなさんが元気で長生きされますよう、職員一同願っております。
※誓寿11長寿を祝うこと

第2とよた苑

敬老会大盛況

9月17日(月)、「敬老の日」に、3部構成で敬老会を盛大に開催しました。

第1部では、最高齢99歳(白寿)の利用者さんを筆頭に、それぞれ節目(卒寿・傘寿・喜寿)を迎えられた利用者さんに、鉢植えのプレゼントと、職員が寄せ書きしたメッセージを付けて、お祝いしました。

第2部のアトラクションでは、職員による爆笑仮装尻相撲大会を行いました。

利用者さんばかりでなく、職員や敬老会に参加されたご家族も大いに楽しみ、お腹をかかえて大笑いするほどのパフォーマンスとなりました。



▲いつまでもお元気で...



▲みなさん大笑いでした

第3部は敬老会で、いつもお茶の慰問でお世話になって、「山内純平商店」さんに今年も来ていただき、おいしいお抹茶を点ててもらいました。和菓子とお抹茶との相性は抜群で、至福のひとつときを過ごすことができました。



▶どれにしようかな?

歌と踊りの演芸会

9月4日(火)、ボランティアグループ「とよた天翔福祉フォーラム」の方々が演芸会のため来苑されました。

歌や日本舞踊を披露していただき、利用者さんも拍手や体でリズムをとったりして、それぞれに楽しんでいらっしました。

最後に利用者さんと一緒に炭坑節を踊り、利用者さんは楽しいひとときを過ごすことができました。



▲とてもおいしかったです

※卒寿...数え年で90歳
傘寿...数え年で80歳
喜寿...数え年で77歳



▲元気いっぱい踊っています

デイサービス

お達者を祝う会

9月11日(火)から17日(月)までの7日間、「お達者を祝う会」を開催しました。

今回は、「笑い」をテーマにし、喜寿、米寿、白寿の利用者さんとその日の最高齢の利用者さんに手作りのメダルでお祝いしました。

会場を盛り上げるため、職員が変装し、野球拳やジェスチャーゲームを行いました。ゴリラや猿の真似の身ぶり手ぶりの動きは、利用者さんも大笑いでした。

また、ビンゴゲームも行い、利用者さん同士で数字を探したり、確認したりと和気あいあいとした雰囲気の中で、みなさん

居宅介護支援事業所

Kさんの生きがい

Kさんの生きがいは刺しゅうです。

デイサービスへ来ると、必ず時間を設けて取り組んでいきます。その姿を他の利用者さんが見かけると「Kさんががんばっているね。刺しゅうをしている姿を見ると、私もがんばらなきゃと思うよ。」と言われます。

Kさんの生きがいは、他の利用者さんへ与える影響も大きいです。みなさんの励みになります。これからも元気に続けてもらいたいですね。



▲たいへん盛り上がりました

※米寿...数え年で88歳
白寿...数え年で99歳



▲今から工場見学するよ～

9月10日(月)、作業班外出でサファイヤ班が「モンテール美濃加茂工場」へ見学に行っていました。

**あま〜い香りに
語られて♡**

9月7日(金)、お楽しみ外出で「名古屋港水族館」へ行ってきました。
迫力あるイルカショーに大興奮で、手拍子をして一緒に盛り上がりました。暑い中でしたが、イルカと一緒に水の中に入るようで、涼しい気分になりました。

下迫カのイルカショー

障害者支援施設
サンホーム豊田

昼食は工場の近くのうなぎ屋さんに入り、普段食べられない機会のあるうなぎを堪能しました。



▲うなぎ屋さんに着

あま〜い香りのシュークリームやエクレアを作っているところを見学することができ、みなさん興味津々に見ていらつしやいました。見学後には、シュークリームとエクレアをいただき、日頃の作業の疲れを吹き飛ばすことができました。



▲ひんやり、涼しい☆



▲ひつまぶし、いただきます!!

少ないひつまぶしやお刺身を食べました。みなさん、いつもより早いペースで食べ、「おいしい!」と満面の笑みを浮かべていました。



▲瀬戸へ～日暮れて～♪

9月17日(月)、とよた苑で行われた敬老会に音楽クラブのメンバーが参加しました。

**いつまでも
長生きしてねー**

- 10・11月の行事予定**
- 10月20日(出) 運動会
 - 10月21日(日) 益富でんでこ太鼓演奏会
 - 10月27日(出) 美里中合唱コンクール招待
 - 11月10日(出) ナイスハートふれあいのスポーツ大会
 - 11月11日(日) 福祉健康フェスティバル

中には一緒に口ずさんでくださる利用者さんもいらつしやりました。楽しんで過ごすことができました。

日頃の感謝を伝えるため、歌をプレゼントし、『花咲く旅路』や『瀬戸の花嫁』など、とよた苑の利用者さんにも馴染みのある曲を披露しました。



▲鈴なりの花を摘み～



▶レストランからの眺めは絶景!!

9月5日(水)、19日(水)に豊田スタジアムのプールへ行ってきました。
まずはレストランで腹ごしらえをし、泳ぐイメージを膨らませながらプールへ向かいました。ビート板を使って泳いだり、職員と手を繋いで水の中を歩いたりと全身を大きく使って楽しく運動しました。
ほど良い疲労感を感じ、笑顔いっぱいの外出になりました。

**プールで
の〜びのび☆**

生活介護事業

支えていただいた方々

9月1日～9月30日(敬称略、順不同)

春日井グループ

春緑苑

特養

寄付金

武内喜代子 塚田美智子 波多野利治 松本宏枝 松井哲也 前並米穀店 山本郁子 山本まゆみ 渡辺 由加 山岡商事

寄付物品

小川千代 香山之氏 芳枝 鈴木ちる子 平川トミ 浅野よし 永田礼子 足立のぶる 深津こつる 安藤 房子 野田久江 鹿田シズエ

ボランティア

【森の会】日比野恵美子 金井規久 西山啓子 栗 田出美子 時野那子 尾崎文子 山田美智子 松岡 加代子 中岡忠 中岡眞智子 嶋田幸子 渋谷山起 子 若原俊 女 藤ゆう 兒田優子 鶴坂フサノ 熊澤ハ ツミ 斎藤花子

ボランティア

【ネオポリスの会】伊佐次雅子 藤波節子

ボランティア

【豊愛会】大野豊愛 愛田桂子 上村佳子 内名良 子 井村恵美子

ボランティア

【あじさいの会】岡本佳木子 加藤からよ 熊澤ち ゑ 佐々木いづく

ボランティア

【ももの会】近藤登美子 赤坂千秋 ニッ谷君子

ボランティア

【おんがくONLINE】尾崎理恵

ボランティア

【やよいの会】武ひろ子 安藤孝子 吉川好子

ボランティア

【ちひろの会】飯下阿古 平松房江 香田みち子 松 尾澄代 鈴木和子 辻千草 青山かね 松田ミドリ 五味たか子

ボランティア

【福寿亭】鈴木信子 宇野敬子 山田緑子 上野典子

春日井グループ

芳田剛水 全住子

寄付物品

上文字みどり 木村宏成

ボランティア

【春日井仲間会】高橋紀子 大石三恵 森田浩子

ボランティア

【たかなみ会】佐野敦人 佐野陽子 松森貴美子 齋藤美津子 山中妙子 池田より子 森幸子 笠江 梨杏 笠江孫緒

ボランティア

【高森台】大いづの会 森崎靖子 武弘子 矢吹匡 子 小木曾まき子 辻九郎 江籠龍宗子 田中朝恵

ボランティア

【3日会】伊藤下枝子 藤坂正子 水野洋子 市原 まさみ 山本繁子 長江澄子 中岡邦子

ボランティア

【個人】シスター木全

ボランティア

【ケアハウス】 松本節子 大塚千代子 船垣房子 宮下和次 廣森 小一 廣森勇 花崎幸次 丹羽瑛子 川口昭子 岩田 ミサヲ 桑原末子 岩園洋子 眞藤田芳美子 坂本 あつ子 井島康男 内川伸子

ボランティア

【森の会】中岡眞智子 中岡忠 時野那子 嶋田幸 子 鶴坂フサノ 三鬼ユスカ

ボランティア

【個人】神馬照子

ボランティア

【グループホーム】 波多野信宏 内山ふじ子 飯島勝子 中野清子

ボランティア

【居宅介護支援事業所】 堀尾孝治

ボランティア

【ヘルパーステーション】 山崎渡世海

春日井グループ

美馬明美

ボランティア

【個人】山本浦子 鈴木美智子 三浦茂 美馬義夫

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

春日井グループ

志計小南 井愛子 伊藤まさ子 山田卓士 藤見子

ボランティア

鈴木良金 中田重信 三田治 杉山充 水谷豊中

ボランティア

川澄美和 シスター木全 高橋弘行 河原良翠 近 藤加奈子

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

春日井グループ

子中 武男 高橋ヒロ子 野きん 中根盛 片岡栄

ボランティア

金子 穂 大津 登志 江渡 澄子 橋本 礼子 恩澤

ボランティア

知子 シスター木全 森田 富子 とよた 福祉 天翔 フォ

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

ボランティア

【個人】サビュンティ 春日井六軒屋店

海外研修レポート

平成24年度海外研修
障がい福祉センター・インタビュー編

障害者支援施設春日苑 係長 渡辺 健 司サービス管理責任者

9月1日(土)から9月8日(土)までの8日間、デンマーク・イタリ

9月3日(月)

9月3日(月) 盲目・視力弱者の国立リハビリテーションセンターに訪問しました。住宅街の一角にあり1858年に設立。障がいの診断から実践のサポート・助言・訓練・教育といった全過程において、その専門的知識と経験・情報を提供していま

個人向けサービスは、障がいの診断から始まり、その後アドバイザー、トレーニング、職業訓練等へと進んでいきます。利用者で一番多い疾患としては、糖尿病から来る視力障害が多く、その他には脳卒中・先天性疾患の方もいます。130名のスタッフが幅広いサービスを提供しており、利用者たちが住む自治体と連携を取りながらプログラムを進めています。目の重さを正しく袋詰めを見えない



重さを正しく袋詰めを見えない

人への対応や道具の使い方や見分け方の指導、働くための訓練等25グループに

編成され、職員はそれぞれ



職業訓練では、国家資格であるマッサーシ師の資格をとる人もいますが、デンマークでは、経済状況から失業者が多く、働く場所がないという問題点もあるそうです。このセンターは、職員が対応方法を学ぶ場所や障がいを研修する部署も存在しており、制度の高さを感じました。

9月5日(水) 午前

1933年にミラノの貧しい恵まれない人々のために設立された、ドンオリオーネ障がい者センターに訪問しました。

現在は利用者が360名以上あり、女性中心となっております。スタッフは300名近くおり、障がい者が全体の20%、高齢者が80%を占める施設となっております。施設の中に、教会、公園、会議室、ダンスホール、プール、理学療法センターなどが完備されており、とても充実しております。

利用料は資産に応じて決まり、国で収入計算方法が決まっています。近年では事故が原因で入所してくる人が増えてきており、医療が必要な人でも入所が可能であるため、医師が各ユニットで配置されていたとしても死去する確率が高く、入替えも多いとのことでした。

午後

自閉症患者のためのデイケアセンターに訪問しました。利用者には16歳から41歳までが利用しており、施設は自閉症患者の能力開発と自立、自閉症患者家族の援助を目標としていました。

心理学者、自閉症専門家、理学療法士が協力して様々なプログラムを提供しており、アメリカで発達した「ティーチ」を参考に、支援をしていました。ティーチプログラムは、自閉症特有の物事の捉え方に合わせた生活環境を作り、子供がコミュニケーションをとりにやすくする方法を体系化したものです。具体的には「場面の構造化」「安定したスケジュール」「学習や作業の手順を具体的に示す」「視覚的に分かりやすい指示を出す」などの考え方を軸に構成されています。

【総合所感】

デンマーク・イタリアを視察して、海外の福祉・文化を知ることができたのは大きな経験でした。北欧では、生活・老後のことを考え、高い税金を払っているから医療・学費等が無料であり、年金が支給される安心感があります。高い税金を払っていることから無駄に使われないという理由で、政治への関心が高く、日本との違いを強く感じました。

訪問した施設で、最初に驚いたことは、職員数が多く福祉制度は充実しているが、働いている人の賃金が低いことでした。しかし、最初、賃金を聞いたときは、少ないように感じましたが、賃金が低い分、休みを充実させ、各種手当などで補充をし、医療費、教育費が無料であれば、日本みたいに各種医療保険や学資保険等を支払うことがないため、出費で考えると日本の方が多いのかも知れないと感じました。

両国とも、それぞれの環境・時代背景があり、その中で福祉制度



イラストを見て座ることを学ぶ

ができて上がっているため、そのままの制度が日本で通用するわけではありません。ただ、今回の研修を通じ、宗教・文化など様々な視点から見る必要があると感じました。

今回の研修で、一緒に同行した他施設の方と接し、障がい種別は違いますが、同じ制度内で働いている方々であり、その勤務している施設での特徴・問題、取り組み方法等、お互いに話をさせていただいたことも研修の成果だと思えました。非常に勉強になった8日間でした。



デンマークのニューハウンで記念撮影

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言われるように、最近の朝夕は一枚羽織らないと肌寒く感じます。これも季節の流れだと思えます。

毎日、世界の様々なニュースが報道され、日本人選手の活躍、新商品の発売など、人それぞれに、思い浮かべるものがあると思います。いろいろな出来事が起こるのも、時の流れの一つではないでしょうか。

時の流れを感じながら、一つひとつ目の前にあることを一生懸命やっていきたいと思えます。

この広報紙に掲載した個人情報、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。